

次世代放射光超高分解能 RIXS ワークショップ

趣旨：次世代放射光施設において、国が設置する最先端研究ビームラインについて、意見公募に対する提案書をベースに、より具体化した最先端研究の目標設定およびそのためのエンドステーションの仕様等を検討している。超高分解能 RIXS ビームラインで実施する研究内容について議論するためのワークショップを開催する。

場所：東大物性研 6F 大講義室

日時：2019年10月1日（火）13：00～17：00

参加費：無料

主催：東京大学物性研究所、量子科学技術研究開発機構次世代放射光施設整備開発センター

協賛：日本放射光学会（予定）

プログラム（予定）

13:00-13:10 趣旨説明（QST 藤井健太郎）

13:10-13:30 「高輝度放射光の特徴と光源性能」（QST 高橋正光）

13:30-14:10 「超高分解能 RIXS のビームライン提案とサイエンスへの展望」
（東大物性研 宮脇淳）

14:10-14:40 「非弾性中性子散乱から見た超高分解能 RIXS への期待」
（東北大 藤田全基）

14:40-15:10 「超高分解能化で期待される固体物理学での新展開」
（東京理科大 遠山貴巳）

15:10-15:30 休憩

15:30-16:00 「超高分解能オペランド RIXS がもたらす電池科学の新境地」
（産総研 朝倉大輔）

16:00-16:30 「量子効果と量子ダイナミクス解析によるタンパク質研究の
パラダイムシフト」（QST 安達基泰）

16:30-16:55 総合討論

16:55-17:00 まとめ

問い合わせ先：次世代放射光施設利用研究検討委員会事務局

3gev-riyoucom-jimu@qst.go.jp